



創立平成 22 年 9 月 16 日

東京日野プロバスクラブ プロバスだより

令和 4 年 1 月 20 日発行

第 132 号

喜ばば 喜び事が 喜んで 喜び集めて 喜びに来る

令和3年度(2021 年度) 会長 澤田 研二 幹事 大島 芳幸

通算119回 12月例会

(クラブ第 12 年度 第 7 号)

会 長 挨拶



令和3年度の活動も 早いもので折り返し点を迎えました。当初はスタートから3ヶ月連続、前年度から通算すると5ヶ月連続という過去最長の休会でのスタートでした。

しかし10月以降会員皆さまのご理解とご協力もあって、今月で3ヶ月連続の開催となり嬉しい限りです。ただコロナは今の所日本では落ち着きを見せていますが、オミクロンの発生もあり、米国は感染者5000万人死者80万人を超えるなど、安心できる状況にありません。

・今日は大坪市長の講話を頂きます。大変多忙な中であり、心から感謝申し上げます。

毎年その時の市民の関心毎をテーマとしてお話を頂いておりますが、今年も貴重なお話を伺えるものと楽しみにしております。

・今月も嬉しい報告があります。小林直哉さんの入会が決まりました。1月から参加します。詳細は後で後藤会員委員長が行います。

また大変残念な報告もあります。10年前当クラブが創立するときに大変ご尽力いただいた飛火野 RC の安西 清さんが他界されました。本当に残念な事です。ご冥福を祈ります。

・来月(1月)は新年例会・記念例会です。コロナの動向が気になりますがお互い十分気を付けながら多くの皆さんの参加を願っています。

今年度会長 澤田 研二

今月のコラム



今年の干支は「壬寅」です。「壬寅」は冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるというイメージがあるらしいです。

希望に溢れた新年を皆様と一緒に迎えることが出来ました事を喜んでおります。

このプロバス便りが皆様のお手元に届く日は、将に日野プロバスクラブの念願10周年記念祝賀会の当日になるはずでしたが、残念ながらオミクロン株の蔓延の状況は収まるところを知らず1月17日現在「まん延防止措置要請」を決定せざるを得ない処まで追い込まれております。澤田会長を始めとするクラブ役員の苦渋の決断により、10周年記念式典の中止を決定しました。しかし、日野プロバスクラブの成長の原点には、競い合う精神に宿っていると考えます。

各委員会がそれぞれの持ち場の特徴を生かして向上する気持ちが相乗効果を生んでいるのでしょうか。当情報委員会も有能な人材の宝庫と言われながら、船頭さんの不在により十分な能力を発揮できずにおりました。これからは違います！各々が独自の能力を十分に発揮できる環境づくりをすることが優秀な？船頭さんの証しでありましょう。

令和 4 年 1 月 吉日

情報委員長 山本英次

お詫びと訂正：先月号の高幡不動尊杉田貴主のご紹介の中で「貴主」と記載すべきを「管主」と誤記掲載いたしました。杉田貴主様には不快な思いを持たれたことと思います。心よりお詫び申し上げます。

情報委員長 山本英次

10周年記念事業実行委員長 特別寄稿 後藤 一郎

周

年記念事業の目的は、顧みて今日在るクラブを
喜び、ご指導を受けた諸団体（人）や地域への
感謝とクラブの存在を披露する。加えて更なるクラブの
発展のきっかけとすること。と理解しています。

10周年は、2018年の奥会長年度に準備委員会が出来、
即座に事業・行事の概案ができました。が19年からのコ
ロナ禍でなんと後藤（紀之）、矢野、澤田各会長年度を経
て、やっと来春1月20日に記念式典、祝賀会開催の運び
となりました。各年度の会長・幹事の連携、支える理事・
会員各位に感謝。

まだ、油断はできませんが当日は大いに楽しみましょ
う。

例会委員会 五加 治

明

けましておめでとうございます。

例会委員会として、「創立10周年記念式典」に向けて
皆様のご支援の下、役割を果たし楽しい式典に成るように努
めます。

新型コロナのオミクロンが増えていることは若干不安がありま
すが、今後は例会委員会全員で役割分担を明確にし、例会
をスムーズに出来るように頑張ります。

会員委員会 後藤 紀之

先

週の理事会で、澤田会長のお知り合いの小林直哉さ
んが、1月から入会されることが承認されました。
これで会員数は36名となり、吉村さんが休会ですので実働
35名です。

小林さんは1月の新年例会・10周年記念式典から出席の
予定です。宜しくお願い致します。

今月は所用で見学に来られませんでした。年が明ければ
更に2~3名の入会予定の方がいらっしゃいます。今後は是非
とも我々の仲間となつていただき、一緒に活動出来ればと思
っています。

新会員手帳は新しく入会される方が落ち着きましたら、4月
を目途に発行の予定です。

地域奉仕委員会 林 良健

地

域奉仕委員会は、12月例会終了後、今後の活動内
容について打ち合わせを行い、次のような事項が決定。
今後は、理事会経由で実現していきます。

- ① 毎回例会後、委員会メンバーの意思疎通を含めて
委員会を実施する。
- ② 「MOA美術館日野児童作品展」の後援団体として、
日野市、日野市教育委員会、日野市社会福祉協議会と
並んで学習指導要領の目的に沿った活動を応援する。

研修委員会 久保 正男

日

野市長の講話も予定どおり実施し、市民の関心事
について分かり易く丁寧に説明され大変参考にな
りました。貴重な講話ありがとうございました。

12月例会時に研修委員分科会を開き今後の研修活動につ
いて確認しました。

- ① 屋外研修は移動手段（マイクロバスほか）を考えると現
時点では時期尚早との結論で、コロナ完全終息を持って
再度検討することとします。
- ② アンケートの募集についても同様の対応が好ましいとの
意見でした。
- ③ 例会時の「研修講話」について何点かの提案があり早
い時期に例会委員会と調整し実施することとします。詳
細は決まり次第ご案内する予定です。

情報委員会 山本 英次

1

月開催の10周年記念祝賀会及び1月月例会を特
集して、次号は特別号の発行を目論んでいます。
情報委員全員の力を結集して、これまでにない画期的な紙
面を制作します。

船頭さんが多くならないように各自調整して、知恵を出し合い
これまでの経験と才能を十分に発揮できる場を造ることが委
員長に課せられた責務でしょう。

期待を裏切らない紙面構成と文章力と映像力を発揮して満
足できるプロバス便り133号を目指します。
多くのご来賓のお言葉は、紙面を賑やかに飾り、撮った写真
は、華やかな紙面に変わることでしょう。
勿論、クラブメンバーさんのお話や挨拶は、ご自身の言葉でお
気に入りの文章を提供して頂きます。

今日のニコニコワンコイン

吉ノ元身良：光陰矢の如し土地家屋調査業務開始から
50年、これから先はシーラカンス的に
生きようと歩調を緩め生きたいと思いま
す。

後藤 一郎：全員元気で良い年を迎えましょう。

林 良健：12月例会開催おめでとうございます。
来年も又お会いできますように！

小島 馨：今年最後の例会、皆様とお会い出来嬉し
いです。

仲村房次郎：寒くなって来たので皆さん風邪をひか
ぬ様に！

本部 皓允：今年で83才！妻が他界し一人で生き
ています。

山本 英次：どなたか情報委員長になって下さい

【これまでの累計金額 21,500円】

大坪冬彦日野市長 特別記念講話



12月の例会では、前月の高幡不動尊・杉田純一貫主に引き続き日野市長・大坪冬彦氏をお招きして講話を頂いた。

市長は、まず喫緊の課題である新型コロナ問題について、「第5波では8月の感染者数 1182 名に達し、多くの市民が自宅療養を余儀なくされたのは残念」と語るとともに、感染者の個人情報把握問題に直面したため、「近隣の市長らと東京都と交渉し、都の持つ情報の共有を可能にしたことが事態の改善に寄与した」と経過を報告。また、「最近、都の感染者数が1日30人を切る日もあるのは明るい話題」と受け止め、表情を緩めた。

しかし、「新たにオミクロン株の蔓延が懸念され、事態はなお予断できない」と引き締め、「追加接種の促進・自宅療養体制の整備」などを柱とする第6波対策を示した。

追加接種にはファイザー、モデルナ両社のワクチンを用いるが、「モデルナは不人気のようにも、交差接種の効果は抜群」「接種時期はワクチンの供給体制をにらみながら対応する」などと追加接種を促した。

一方、新型コロナとは別に「日野市には河内久男・元副市長に絡み、対処すべき個別の懸案がある」とし、①市立病院での元副市長による高額報酬及び日給額の受け取り②川辺堀之内上地区区画整理組合における元副市長の高額報酬の受け取りと市からの助成金の搾取③むこう島保育園問題の三点を挙げた。

助成金搾取問題では「元副市長は詐欺罪で逮捕され、一審で有罪判決、現在控訴中」をはじめ、懸案の具体的な中身を説明し、「保育園問題は特に詳しく話したい」と強調した。

むこう島保育園問題は「市議会での一部議員による迫及」（市長）のほか「クリーンなまち日野をつくる会」も、「大坪市長が異例の補助金増額」「地主『代理人』と馬場市長（当時）の『特命』を一人で担った元副市長、大坪市長も関与」などと追及している。

これに対し市長は、「補助金の増額は、ごく一般的な、設計段階の当初予算と実行に伴う補正予算といった予算計上、会計処理の問題」と指摘、令和3年3月に設置された弁護士三人による「第三者実態調査委員会」から「違法・不当な点は見当たらないとの評価を受けている」と反論した。

また、「馬場市長時代の坪氏の関与」については、当時市の職員として、まちづくり部長を務めており、本来業務として限定的に携わったにすぎないと力説、理解を求めた。

ただ、第三者委員会から、「保育園の運営法人に対する前払い家賃の設定は地主に有利」「進入道路の補助金対象額の妥当性の確認がなされていない」などと不当性を指摘された事には、「事実を確認し、しっかりやっていかなければな

らない」と述べ、講話を締めくくった。（文責・魚住）

誕生日を迎えて

後藤一郎 会員

先

に逝った先輩と夢でよく合う場所が、先日、日野3クラブのゴルフコンペの会場、狭山CCの1番ホールのティーグラウンドです。

「やあ～来たな」とにこにこ迎えてくれる。お待たせ・・・と挨拶する間もなく消えてしまう。目が覚めた後とても気持ちが良い。

「じきに逝きますよ」と、つぶやいて熟睡してしまいます。



12月誕生 後藤さん 澤田会長 大島さん

私の誕生日

古希を迎えて

大島芳幸 会員

2021年12月21日で70歳（古希）を迎えました。特段の感慨も覚えませんが、当クラブ5周年記念誌に故渋谷文雄会員が投稿されていた「未熟に老いて」の中の一文「自分の年齢に戸惑う」が思い起こされます。同感です。まだまだ未熟な若輩者。研鑽して参りたいと思います。

幹事報告

幹事 大島芳幸

- * 1月20日の新年例会・10周年記念式典の進捗状況等最終確認作業を行い、準備を進める。
 - * 12月3日「日野まちおこし協議会」開催。日野市の3大イベント（新選組祭り よさこい祭り たかはたもみじ灯路）は、現段階では開催の予定
 - * 澤田会長より紹介の小林直也氏の理事会で入会承認。1月より入会予定。
 - * 12月10日「寿司正」にてゴルフ同好会、麻雀同好会合同の忘年会開催。
- 五加 治会員、村田 博会員の歓迎会も兼ねる

東京日野プロバスクラブ公式 HP
URL: <https://www.hinopc.com>



十周年記念事業の記録

直前会長 矢野凱弓

十年の節目となる周年事業は、2018年度理事会にて検討が開始され、同年10月準備委員長に推戴された後藤一郎会員より基本方針が明示された。

- ① クラブ10年の継続を寿ぎ、会員相互の親睦を深め、更なるクラブの発展を期す。
- ② 地域にその存在を示し、記念事業で貢献する。
- ③ 日野・飛火野両ロータリークラブ、近隣プロバスクラブに感謝と末永い親交を願う。

これをベースに、19年2月例会では全会員によるグループ別討議も行われた。その後6回の12人による準備委員会、19年度理事会の決議を経て、全員参加を基本とする3事業案が固まり、予算も裏付けられた。すなわち

・**記念式典・祝賀会の開催**(20年11月19日、立川グランドホテル、奥会員がリーダーとなり例会委員会・会員委員会が実務担当。尚ホテル名はその後エミシア立川に変更された)

・**地域貢献として公開講座**(20年10月24日、多摩平の森イオンホールにて、小林宏之先生による『いつだって今が旬』(健康も安全も年齢も自分で決める)の準備に入る。

澤田会員をリーダーとし、研修委員会・地域奉仕委員会が分担して実務を担当)

・**記念誌の作成**(小西会員がリーダーで情報委員会が担当。式典来賓各位の祝辞、祝賀会の記事写真の掲載、続いて五周年記念誌で詳述した当初5年の活動抄録と次の5年間の年度別詳細報告。更に全会員の寄稿による会員紹介サロン。直ちに原稿依頼が全会員に発せられ、夏には初稿が集まる段取りでスタートした。

しかしながら、武漢に始まるコロナ禍により事態は急変。20年3～6月は例会も全て中止。東京オリンピックもプロバス全国総会も1年延期(最終的に五所川総会では中止)我々も大規模集会の年内開催は無理と判断し、5月理事会にて200人規模となる**公開講座は中止、式典・祝賀会は1年延期**、記念誌は10年間の記録性を重視した内容を追加し当初予定時期に発行する、と決定された。

20年7月に新年度入りしたもののコロナ第二波に襲われ、多人数の対面会議は引き続き開催困難な状況。委員長と4役による少人数での検討会を重ね、代替案を立案し理事会に提言。



コロナが下火となった20年10月と11月にやっと開催出来た例会で、地域貢献は市立病院援事業に切り替え、暖房ストーブ寄付の是非検討を経た上で、病院の最終要望に沿い**医療用ストレッチャー2台**の寄贈を決定、12月には即実行した。またクラブ創立以来支援を続けている地元日野市の社会福祉2法人への支援金を増額し、贈呈を実行した。

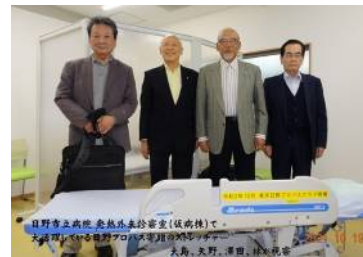
満丁度10年に当たる20年11月例会は内々のささやかな記念例会としたが、ご来臨賜った杉田貫主に祝辞と法話を頂いたので、急遽記念誌に収録した。また10年間の活動記録をまとめたページを増補し、計51ページとなった十周年記念誌を予定通り21年3月に発行することが出来た。現在ホームページにも掲載されている。



延期された式典・祝賀会は21年1月18日で会場・記念講演・アトラクションの再予約を済ませていたが、コロナ禍の波状来襲で21年6月には再度の順延決定を余儀なくされた。22年1月に同じホテル宴会場で新年会を開催する予定なので、規模を縮小した十周年祝宴もそれに統合させる方向となった。

21年度理事会により万全の準備が整えられたが、コロナ第6波オミクロン変異株の感染爆発で、開催1週間前になって再々度の開催断念となった。準備した記念品を皆様にお届けすることで十周年行事は完了することと理事会で決した。

以上、奥・後藤紀・矢野・澤田の4会長年度にまたがる十周年記念3事業の経緯を概観しました。(文責:矢野)



左:コロナ発熱病棟で活躍しているストレッチャー

下左:「光の家」支援

下右:「夢ふうせん」支援



杉田貫主・大坪日野市長講演、来月は10周年式典と、中身の濃い例会が続いています。1月例会はこれまで17:30からでしたが、今回は17:00からです。間違えのないようお願いいたします。コロナも最近穏やかですが緊急事態宣言ができれば中止、このまま行ってほしいものです。今年もあと数日となりました。数日後には雪の予想も出ています。安西さんのこともあり、日々の生活には十分注意され、よい年をお迎えください。本日はどうも有難うございました。

副会長 宮地公平